



らいぶらり えひめ

Library Ehime

2016(H28)10.1 発行

No.232

愛媛県立図書館報

挑戦する県立図書館

愛媛県立図書館長

渡邊 洋人

当館は、「県民にとって役に立つ図書館」を目指し、多様な資料を収集し、直接的なサービスを提供するとともに、市町立図書館等への支援、関係機関と連携・協力して、すべての県民の皆様にサービスが提供できるよう努めています。ここでは各階の特色あるサービス、今年度に挑戦するサービスの一部を紹介いたします。

1 利用概況

昨年度の利用状況は、入館者数約21万人(2階学習室を含むと約37万人)、蔵書数約67万冊、館外貸出数約16万冊、協力図書(学校、図書館、公民館等の団体や読書グループへの一括貸出)約2万6千冊、調査・相談(レファレンス)サービス約1万5千件でした。

2 各階の主な図書館サービス

(1) 1階(子ども読書室・読書支援センター)

- ブックトーク：小・中・高・特別支援学校対象。年間14校で実施。
- 授業DEブックトーク：授業の内容に関連する本の紹介。
- おはなしだいすき！：ボランティアによるおはなし会。毎月第1・3土曜日に開催。
- おはなしだいすき！0.1.2：職員による0～2歳児とその保護者を対象としたおはなし会。毎月第3水曜日に開催。
- 子どもの読書活動推進のための研修会：子どもの読書活動に関心のある方を対象にスキルを高めるための研修会。年間4回実施。
- 夏休み自由研究相談会：2回実施。
- ひみつの図書館たんけんツアー：小学生対象。
- 子どものための講演会：小学生以上対象。今年度は香川元太郎氏の講演会や演習。
- ティーンのための図書館のミカタ：12～19歳対象。学習のための図書館の利用方法や小論文の書き方を学ぶ講座。
- 『探検しよう！本の国』：幼児から中高生まで対象。昨年1年間に発行された本の中からおすすめの本50冊を紹介したパンフレットの作成。

(2) 3階(一般図書室)

- 課題解決コーナー：「子育て支援情報」「医療健康情報」「ビジネス情報支援」コーナーの設置。

課題解決を支援するための関係図書・情報の提供、司書による相談・情報発信。

- ビジネスなんでも無料相談会：起業・創業を目指している方、中小企業の経営者、自営業者などを対象。中小企業診断士と司書が対応。
 - YA(ヤングアダルト)コーナー：中高生等におすすめの本を紹介するコーナーの設置。『YAつうしん』の発行。
 - 愛媛プロスポーツアーカイブズ：愛媛FC・愛媛マリンパイレーツに関する資料収集、常設コーナーの設置。
 - 商用データベース：約22万件の判例と要旨・解説、官報、日経四紙の記事などの検索が可能。
- (3) 4階(えひめ資料室・伊予俳諧文庫)
- 愛媛・俳句に関する資料、諸家文書、諸家文庫、マイクロフィルムの収集・保存・提供。
 - デジタルアーカイブ：郷土資料や古文書等のデジタル化、公開。愛媛県行政資料(藩政期・明治期)の冊子・絵図の電子化。絵図115点はweb公開。
 - 古文書解読講座：伊予史談会会員等が講師。毎月第4日曜日に開催。



「愛媛県管内地図」(明治17)

3 新しいサービスへの挑戦

- (1) ブックトークはじめま専科
教職員や子どもの読書推進関係者対象のブックトーク初心者講座。考え方と技術を知る研修。
- (2) おでかけ県立図書館 in 松野
当館のいろいろな図書館サービスを実体験。蔵書の出張貸出、利用カードの作成等。
- (3) 熊本地震の被災者及びボランティア支援
県内に避難している被災者への図書の貸出。被災地新聞(熊本日日新聞・大分合同新聞)の提供(平成29年3月まで)。

県立図書館は、「収集した資料を活用して何ができるのか」。新しいサービスを創造し、従来のサービスも工夫・改善して提供していきます。皆様のご利用をお待ちしております。

主人公は図書館員！映画「海すずめ」の世界展

平成28年7月から8月にかけて、宇和島市を舞台にした映画「海すずめ」が全国公開されました。映画の主人公・赤松雀は宇和島市立図書館自転車課に勤める図書館員という設定です。そこで、この映画をより楽しんでいただくとともに、図書館についてより深く知っていただくため、企画展示「映画「海すずめ」の世界展」を7月1日から8月30日まで、4階えひめ資料室壁面展示ケースで開催しました。

● 展示の概要 ●

展示は三部構成としました。

「映画「海すずめ」の世界」では、映画制作会社ウサギマル様のご協力により、実際に映画で使われた小道具を展示させていただきました。自転車課の制服や主人公の創作ノートなど、大変貴重なものばかりでした。他に当館の職員が現地の様子を撮影したロケ地の紹介マップも展示しました。

「「海すずめ」で知る図書館の世界」では、映画に登場する図書館自転車課のように、自転車を使った図書館サービスの国内外の実例を紹介しました。また映画に登場する私立伊達図書館についても、開館式の様子を伝える新聞記事や建物の平面図などを展示し、紹介しました。

「雀がおススメ！「海すずめ」を10倍楽しむ10冊」では、主人公の雀がおススメの本を紹介するという体裁で、宇和島藩や宇和島市立図書館ゆかりの本を展示しました。

— ● 大森監督、武田梨奈さんご来館！ ● —

7月9日には、なんと大森研一監督と主演の武田梨奈さんが、松山市内での舞台挨拶の後、関西への移動のため空港に向かう途中という非常にタイトなスケジュールの合間を縫って、わざわざご



「おススメの本」を手にとる武田梨奈さん
(C) 2016「海すずめ」製作委員会

来館くださいました。武田さんにはポスターとパンフレットにサインまでしていただきました。

そして今回、大森研一監督が『らいぶらりえひめ』のために寄稿してくださいました！

特別寄稿

「映画「海すずめ」—図書館“自転車課”という設定が生まれるまで—

大森 研一 監督(砥部町出身)

まず本映画の脚本を執筆するにあたり、描くべき基本思想は宇和島の史実とフィクションを織り交ぜることでした。撮影当時(2015年)におこなわれた宇和島伊達400年祭、風景や温かな人々の気質、そして歴史について。見せたい(見せるべき)要素があまりに多いため、執筆当初は正直かなり悩みました。なかなか筆が進まず、資料を漁っていて見つけたのが「伊達図書館」でした。その存在を知ったところから、頭の中で物語は一気に決まったのです。

バラバラにある要素を単体で見せるのではなく、すべてを結びつけてドラマを成立させる。しかもそれが図書館というのが魅力ある存在だなあと感じました。図書館、それは誰もが頭に浮かべる静かな空間。何かしら些細なことでも思い出がある場所だと思います。

さらに図書館の存在は、時間軸『今も昔もリンクさせたドラマ』としても繋がりを見いだすことができました。昔の伊達図書館と、今の市立図書館。この、時の移り変わりを使って歴史も語る事ができる。と、脚本の道筋は定まりました。そしてそのパイプ役となる設定として、図書館“自転車課”というものを作りました。この大きな利点としては、主人公の雀が自転車で各地を巡る設定(=違和感無く様々な場所を映し出せる)。そして図書館の説明と同時に、歴史も語れるという一石二鳥どころか三鳥、四鳥くらいにもなったと思います。

図書館とは、ある意味でその土地の顔であったり知恵袋であったり憩いの場であったり、様々な思いの詰まった場所だと思います。すっかりデジタル社会になった現代だからこそ、静けさの中その魅力は尽きない存在です。

たくさんの方にご来館いただき、誠にありがとうございました。

(図書整理グループ 天野 奈緒也)

四国がんセンターとの連携について

3階一般図書室には、皆様の医療や健康に関する調べものをお手伝いする「医療健康情報コーナー（以下、医療コーナー）」を設けています。医学・看護学等に関する本約3,900冊と闘病記約600冊が、病気等による分類順に並んでいるほか、県内の患者会資料や病院情報もご利用いただけます。また、医療・福祉関係団体や機関から、持ち帰り可能なパンフレット等も、ご提供いただいています。

平成19年度に医療コーナーを設置して以来、多くの関係団体や機関等の皆様には、資料や情報提供等の面でご協力いただく一方、図書館を広報の場として活用いただくことで、相互に連携する関係ができてきました。

四国がんセンターとは、平成24年度にセンター内の「患者・家族総合支援センター（通称：暖だん）」図書・情報コーナーの開設準備に当館が協力したのを機に、連携が強化されました。

当館の医療コーナーには、「がん情報」を集めたミニコーナーがありますが、そこに「暖だん」のパンフレットや催しの案内等を置き、利用者の方に持ち帰っていただけるようにしています。一方、「暖だん」には、当館の協力図書をご利用いただいているほか、年10回発行する広報誌「お堀の図書館」も置いていただいています。

そうした中で、医療コーナーと「暖だん」で共同の催しを、ということになり、平成25年度に当館で、リレーブックトークとがん予防の講演を内容とする「図書館で“がん”を学ぼう！」を開催したのを皮切りに、26年度には、「暖だん」で「絵本の魅力～いのちの対話～」を、27年度には、再び当館で「図書館で“がん”を学ぼう！」を開催しました。



県立図書館職員

今回は、今年2月24日に開催した「図書館で“がん”を学ぼう！」についてご報告します。

まず、導入として、当館職員が「子どもにがんを伝える本」と題して作成したリストに沿って、資料を紹介しました。リストを作成する際の基準と、参考にしたウェブページも併せて紹介しました。「子どもにがんを伝える本」のリストは、現在、当館のホームページで公開中ですので、是非ご覧ください。

次に、四国がんセンターの臨床心理士が、「絵本はこころの処方箋」と題して、四国がんセンターでの実例や絵本の読み聞かせを織り込みながら、患者やその家族の心を支える絵本の力について説明しました。子どもは、親の病気を通じて、身体のしくみや病気、死について興味を広げていくということがあり、併せて、それらに関するおすすめの本も紹介されました。



四国がんセンター
臨床心理士
井上 実穂氏

続いて、当館職員が医療コーナーを使ったがん情報の集め方について説明しました。がんに関する資料を収集・公開しているだけでなく、持ち帰り可能ながん関係のパンフレットを置いていることや、当館ホームページの活用法についても紹介しました。

最後に、四国がんセンター「暖だん」について、施設の概要や催し等が紹介されました。

参加者からは、「がんを伝える本のリストがすごい。司書の力を感じた」「絵本の持つ力が心を揺さぶり、感動した」「図書館の活動をもっと広報してほしい」といった声をいただきました。

四国がんセンターとは、今後も継続的に開催していきたいと話しており、来たる11月9日には、「図書館で“がん”を学ぼう！2016」を開催するべく、現在準備中です。ご期待ください。

（相談グループ 橘 可奈子）

新サービスの紹介

「おでかけ県立図書館 in 松野」



8月4日午後1時から、松野町山村開発町民センターにおいて、県立図書館蔵書の出張貸出を実施しました。

県立図書館が行う市町支援事業の一環として、図書館のない地域の町民の方々に図書館サービスを体験していただくことで、読書環境整備の機運を高めることを目的に、松野町教育委員会の協力のもと、開催することができました。



当日はおすすめの児童書や子育て等に役立つ実用書、大きな活字の読み物など600冊を揃え、お待ちしていたところ、町民の方々が次々にご来場くださり、50名以上の方に体験していただくことができました。わずか3時間と短い時間ではありましたが、皆さんの本を選ぶ真剣な姿に、読書の有用性を感じました。

今年度は10月28日にもう一度実施する予定です。

(読書振興グループ 東 智子)

「ブックトークはじめま専科」

ブックトークとは、アメリカで始まった図書を紹介する手法の一つで、「あるテーマに従って、何冊かの本を順序立てて紹介すること」です。

「愛媛県子ども読書活動推進計画」が策定されたのを機に、県立図書館では平成17年に子ども読書係を設置し、ブックトークを使って読書の普及啓発をスタートさせました。これまでにブックトークが子どもたちの読書意欲や習慣化につながっているという評価も得てきましたが、ブックトークの実演者はあまり増えていないのが現状です。

そこで、日常的に子どもたちが本と出会える機会を持てるように、教職員や、子どもの読書活動にかかわっている方にもブックトークの基本を知ってもらい、ブックトークをより身近に体験できる指導者を増やすことを目的に事業をスタートしました。研修では「10分でできるブックトーク」もお話ししています。ぜひ気軽に「子どもと本のかけ橋」を体験してみませんか。

(読書振興グループ 松浦 雅人)

「県内絵図115点Web公開」

県立図書館が所蔵する藩政期から明治45年までの愛媛県行政文書のうち、愛媛県内の絵図115点を平成27年11月8日よりインターネットで公開しています。絵図はファイルを開かなくてもどのような図かわかるよう、サムネイル(縮小画像)一覧になっており、「国県単位の図」、「郡市町村単位の図」、「特殊図」の3つに分かれています。「郡市町村単位の図」では、現在の地図から辿ることができますので、昔の地名を知らなくても見たい絵図を探すことができます。

高精細画像を速やかに表示し、拡大・縮小も自在にできる高い利便性を備えたデジタルアーカイブシステム「ADEAC®」で、広げることも困難だった大型絵図を、ご自宅のパソコンやお持ちのタブレット等で快適にご覧いただけます。プリントアウトもできます。是非ご活用ください。

URL

<https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/3800115100>

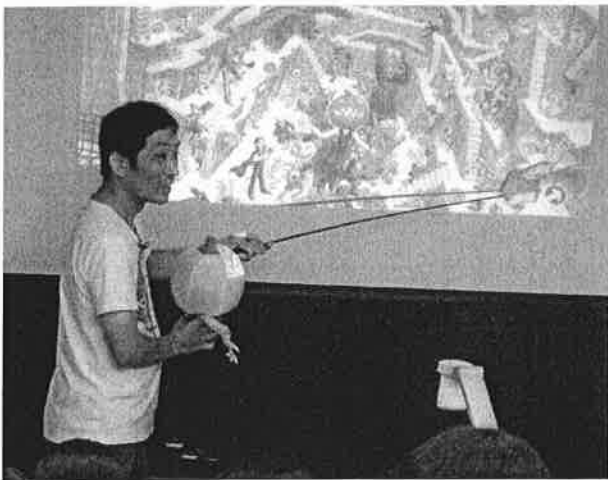
(図書整理グループ 中村 由紀)

夏休みの県立図書館のつかい方

毎年子どもたちが夏休みの期間、子ども読書室は多くの親子連れや小中学生の姿が見られます。また、2階の自習室は、多くの学生が利用しています。そこで、いつもと違う、夏休みの県立図書館のつかい方をお話したいと思います。

<子どものための講演会>

毎年夏休みに実施しているのが、外部から講師の先生をお招きして子どもたちを対象に行う「子どものための講演会」です。今年は愛媛県出身の絵本作家・イラストレーターの香川元太郎さんを講師に「香川元太郎さんと遊んで学ぼう！迷路絵本のひみつ」と題して、香川さんに迷路絵本のひみつについて話していただくとともに、後半は、香川さんにアドバイスをいただきながら、実際にかくし絵入りの迷路を作るワークショップを行いました。



今回の対象は小学生でしたが、低学年の参加者は保護者と相談しながら書き進め、中学年以上の参加者は、自分の思いを形にしようと、集中して作品作りに取り組みました。香川さんは、ご自身の作品の作成過程を写真で示しながら、迷路の描き方やかくし絵の取り入れ方なども説明してくださいました。参加者は最後まで手を止めることなく取り組み、作品を仕上げました。

子どものための講演会は、毎年子どもたちに関心の高いテーマについて専門家の話を聞いたり演習を行ったりして、子どもたちの読書意欲や学習意欲の向上を図っています。

<自由研究応援します！>

夏休みの宿題と言えば自由研究ですね。県立図書館では、夏休み中に「自由研究応援します！」

と題して、小中学生の自由研究の相談会を実施しています。今年は、夏休みが始まってすぐの7月22日と8月5日の2回実施しました。例年、担当者が相談者の話を聞き、自由研究を進めるための参考になる資料を提供してきました。相談内容は、理科では虫や水中生物の飼育方法や野菜の栽培方法、水や氷の変化や磁石の研究などです。社会科では、愛媛の地域特性についてや城のつくりについて、ボランティアについてなど多岐にわたりました。

例年、6月下旬ころから自由研究関係の本の貸出しが増え始め、8月上旬には、希望の本を提供できない場合もあります。自由研究の相談は早めがおすすめです。

<ひみつの図書館たんけんツアー>

「図書館の裏側ってどうなっているのだろう」と疑問に思ったことはありませんか。県立図書館では、春のこどもの読書週間と夏休みに、小学生を対象に、図書館のつかい方を聞いたり、普段は一般の方は見ることができない書庫などを見学したりする「ひみつの図書館たんけんツアー」を実施しています。



古い紙芝居や新聞、貴重な海外の仕掛け絵本なども見ることができます。人が乗れない不思議なエレベーターなど、図書館のひみつを発見することができます。貴重な資料が書庫に並んでいる様子も見ることができ、特別な体験になることでしょう。図書館のひみつを知って、ますます図書館を身近に感じていただければと思います。

(読書振興グループ 松浦 雅人)

*** 愛媛県読書グループ連絡協議会 ***

総会並びに読書推進大会が開催されました

6月30日(木)、松山市道後姫塚のにぎたつ会館にて「平成28年度 愛媛県読書グループ連絡協議会総会並びに読書推進大会」が開催され、県内各地から読書グループ関係者、読書教育関係者、読書愛好者等153名が集まりました。

「愛媛県読書グループ連絡協議会」(略称「県読連」)は、1964年12月に発足し、今年で創立53年を迎える伝統ある団体です。「伝えよう読書のよろこび、広げよう感動の輪」をスローガンとし、県内の読書グループ活動の相互理解と更なる普及・発展を目指して、日々実践を重ねています。

事例発表では、伊予市立図書館の北岡康平係長に、地域をつなぐ場所としての図書館運営についてお話しいただきました。邦楽グループ「楓 Fuga 雅(フーガ)」の皆様にお話の絵をスクリーンに映しながら、箏と尺八の美しいハーモニーに合わせて「つるのおんがえし」を朗読していただきました。



研究協議では、多数の方から感想や意見を聞くことができました。年に1回、県内の読書グループ会員が集まって意見交換ができるのも、この大会の魅力の一つです。

午後からは、松山市出身のショートショート作家の田丸雅智先生に「田丸雅智の『超ショートショート講座』」と題して、ワークショップ形式でご講演いただきました。各参加者は思いつく名詞とその名詞から連想する言葉を考え、それらを組み合わせた不思議な言葉から想像を広げて時間内にショートショートを完成させました。「書くことは読み手を育成することになり、読書の推進につながる。」という信念を持った指導に、皆、周りと意見交換しながら創作に励み、会場は熱気に包まれていました。

今後も県読連は魅力ある活動を目指し、続けてまいりますので、興味をお持ちの方は是非ご入会ください。お問合せは愛媛県立図書館までお願いします。

(読書振興グループ 白石 直美)



愛媛県立図書館の利用案内

【開館時間】

火曜から金曜…午前9時40分から午後7時まで
土・日・祝日…午前9時40分から午後6時まで
子ども読書室…午前9時40分から午後5時まで

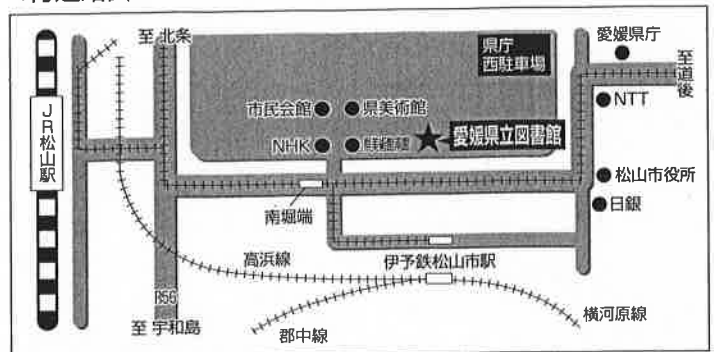
【休館日】

月曜日(祝日の場合は、直後の平日)
年末年始(12月29日～1月3日)
特別整理期間(10日以内で館長が定める日)
館内整理日(毎月末日、ただし、その日が上記休館日、土・日曜日に当たるときは館長が定める日)

【駐車場】

図書館専用の駐車場はありませんが、県庁西駐車場(旧国際交流センター跡地)を2時間ご利用いただけます。ただし、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

<付近略図>



編集・発行 愛媛県立図書館

〒790-0007 松山市堀之内 TEL 089-941-1441(代表) FAX 089-941-1454
https://www.ehimetosyokan.jp e-mail: tosyokan@pref.ehime.jp(代表)